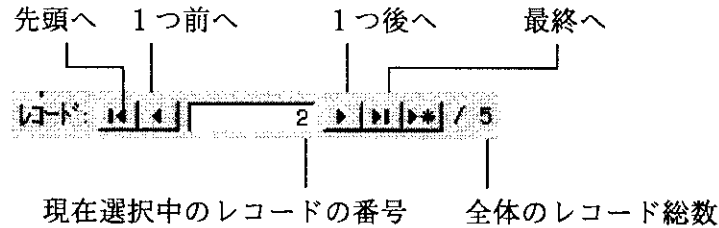


移動ボタン

フォームの左下に表示されるレコードを移動するためのボタンです。

レコードの先頭・最終や前後に移動することができます。また、レコード番号を入力すると指定したレコードへ移動します。

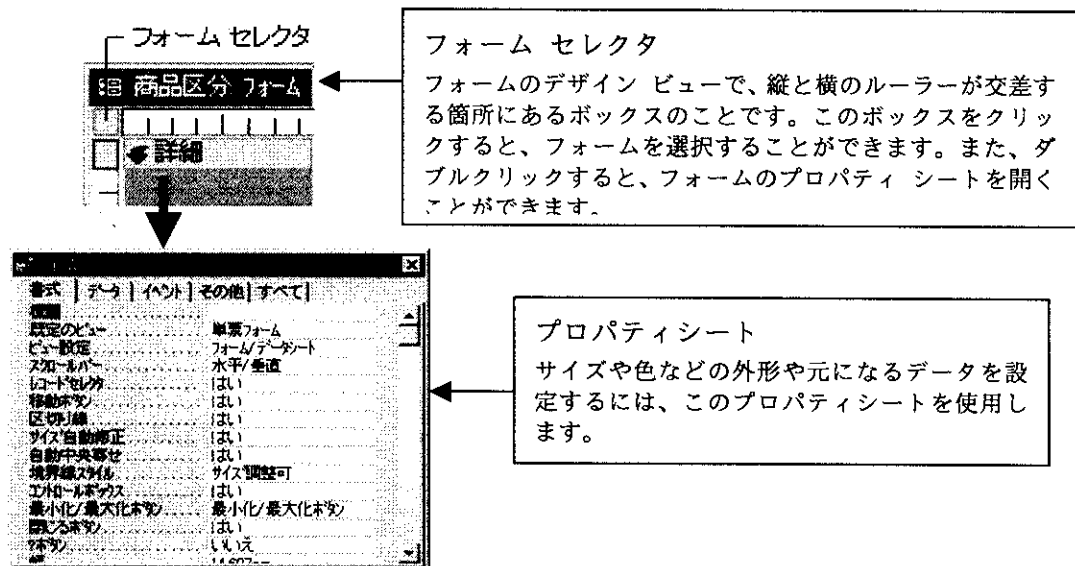


レコードソース

フォームやレポートの基になるデータを示します。"RecordSource/レコードソース" プロパティを使うと、テーブル、クエリ、または SQL ステートメントのデータを表示できます。たとえば、[T_単数回答] テーブルのデータをフォームに表示して編集するには、フォームの "RecordSource/レコードソース" プロパティに [T_単数回答] を設定します。また、コントロールの "ControlSource/コントロールソース" プロパティにテーブルのフィールド名を設定すると、フォームまたはレポートのコントロールに、[T_単数回答] テーブルの特定のフィールドを連結できます。たとえば、コントロールの "ControlSource/コントロールソース" プロパティに [No] を設定して、コントロールを [T_単数回答] テーブルの [No] フィールドに連結できます。

プロパティ (属性)

テーブル、クエリ、フィールド、フォーム、およびレポートの特性 (属性) を決定するには、プロパティを使用します。フォームまたはレポートの各コントロールにもプロパティがあります。コントロール プロパティで、コントロールの構造、外観、および動作が決定され、またコントロールのテキストやデータの特性も決定されます。プロパティは、プロパティ シートを使用して設定します。

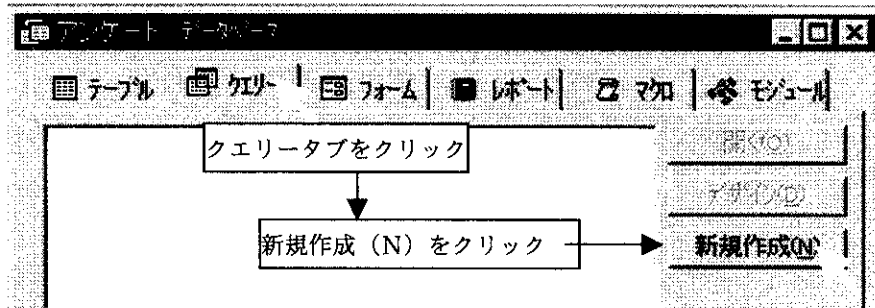


(2) 入力用のクエリーを作成する。

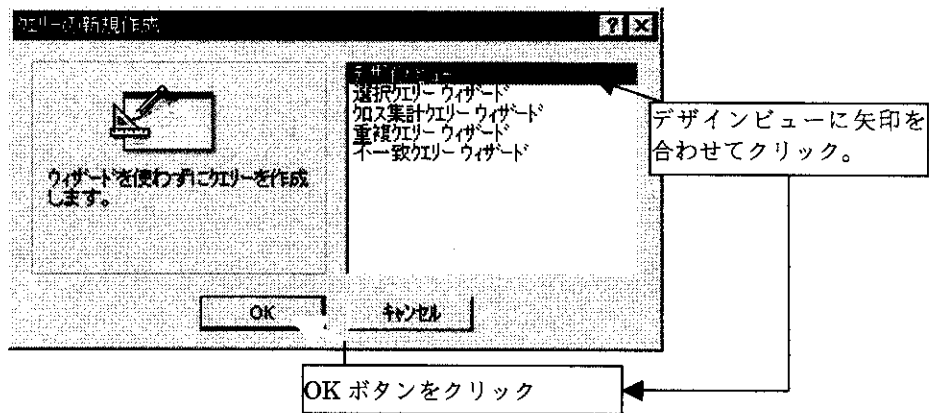
アンケート調査票用のデータを入力する際に、各コード表が参照できるように入力用のクエリーを作成します。

1) 入力クエリーの作成手順

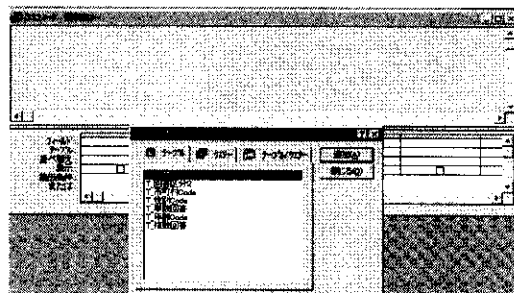
- ① データベースウィンドウのクエリータブを選択し、新規作成ボタンをクリックする。



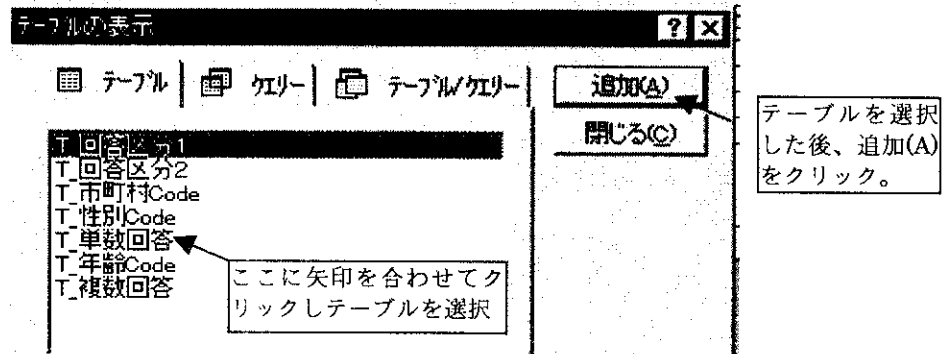
- ② クエリーの新規作成が表示されるので、デザインビューを選択し OK ボタンを押す。



- ③ クエリーのデザインビューが表示され、クエリーの基になるテーブル選択が指示されます。



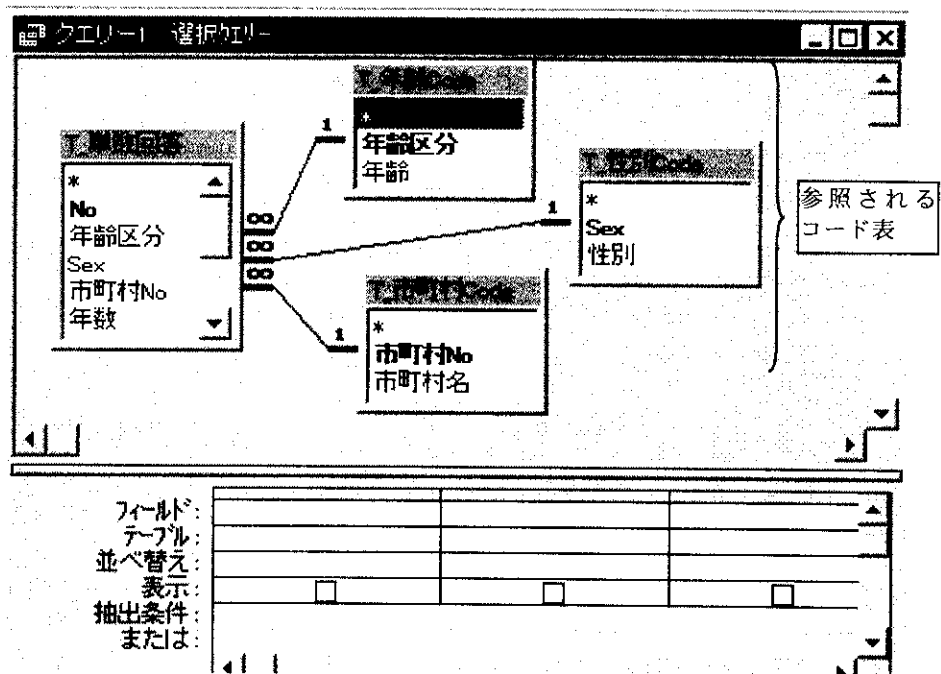
- ④ データを格納するテーブル (T_単数回答) とコードを利用するテーブル (T_性別 Code、T_年齢区分 Code、T_市町村 Code) を選択します。



クエリーに使用するテーブル全てを同じ手順で選択して下さい。

- ⑤ 結合線を設定します。

(リレーションシップを設定しているためここでは、自動的に結合線が設定されます) リレーションシップと同じ手順で設定を行います。



⑥ フィールドとテーブルを指定します。

表示されたテーブルのフィールド名に矢印をあわせて、マウスをクリックしたまま、下のフィールドの枠までマウスを動かしてマウスボタンから指をはなします (ドラッグ操作)

クエリーで表

連結させるテーブルです。指定したテーブル

フィールド: No
テーブル: 丁単数回答
並べ替え:
表示:
抽出条件: または:

練習3 次の項目順にクエリーのフィールド設定して下さい。

No	Q1-1	Q1-2	Q1-3	Q2-1	Q3	年齢区分	年齢	Sex	性別	市町村No	市町村名	年数

※ヒント 年齢区分・Sex・市町村Noのフィールドはどちらのテーブルにデータを格納するのかを考えて設定を行って下さい。

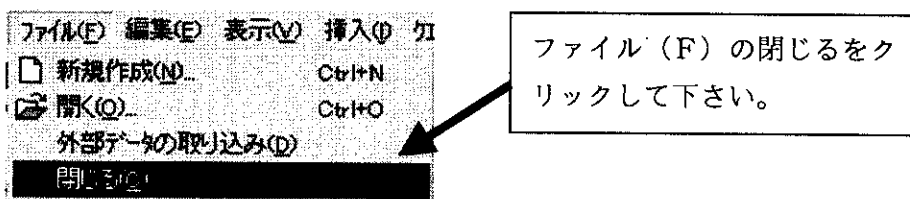
⑦ クエリー名を付けて保存する。

このファイル (F) をクリックして

名前を付けて保存を選択する。

カレントデータベースを選択。
新しい名前: Q_調査票入力
入力したら、OK ボタンをクリックする。

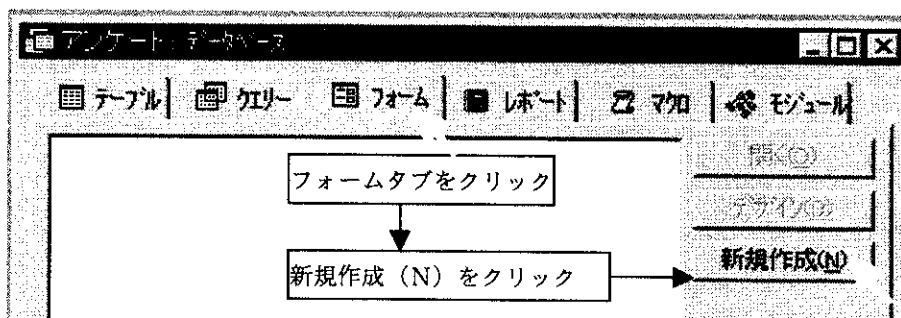
- ⑧ 入力用クエリが完成しました。
デザインビューを終了させます。



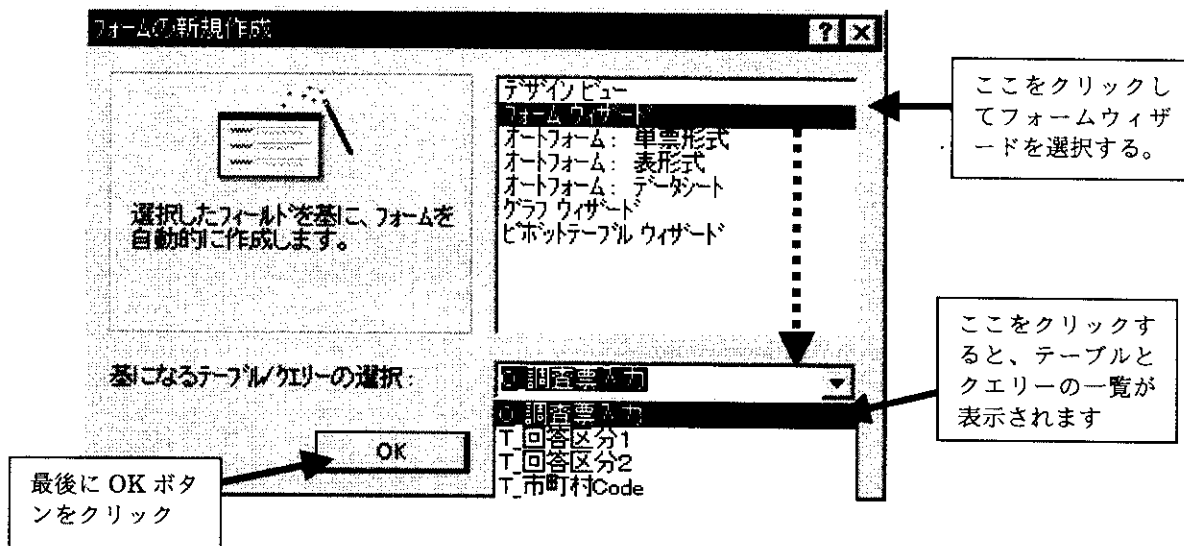
(3) フォームウィザードでフォームを作成する。

デザインビューを選択して一からフォームを作成する方法もありますが、ここではウィザードを使って簡単なフォームを作成して、その後レイアウトを変更します。

- ① データベースウィンドウのフォームタブを選択し、新規作成ボタンをクリックする。



- ② フォームウィザードを選択し、基になるテーブル/クエリの種類に「Q_調査票入力」を選択する。



③フォームに表示するフィールドを選択します。

フォームに含めるフィールドを選択してください。
複数のテーブルまたはテーブルからフィールドを選択できます。

テーブル/キー(D)
[キー: Q_調査票入力]

選択可能なフィールド(S)

Q1-2
Q1-3
Q2-1
Q3
年齢区分
年齢
Sex
性別

選択したフィールド(S)

1 左側のフィールドを選択して

2 このボタンをクリックするとフォームでフィールドが表示されます。

>> このボタンはすべてのフィールドを選択します。

<< このボタンはすべてのフィールドの選択解除をします。

< このボタンは選択したフィールドの解除をします。

キャンセル <戻る(N) 次へ(N) 完了(N)

フィールドの選択が終了したら、次へ (N) をクリックする

④メインとなるテーブルを指定する。T_単数回答を指定する。
(単一テーブルの場合は選択する必要はありません)

メインとなるテーブル/キーを選択してください。

T_市町村Code
T_性別Code
T_年齢Code

T_単数回答を選択する。

No. Q1-1, Q1-2, Q1-3, Q2-1, Q3, 年齢区分, 年齢, Sex, 性別, 市町村No, 市町村名, 年数

G 単票形式フォーム

次へ進む ここをクリック。

キャンセル <戻る(N) 次へ(N) 完了(N)

⑤フォームの表示形式を選択する。ここでは、単票形式を選択します。

フォームの表示形式を選択してください。

単票形式(N) ← 単票形式をクリックする。

表形式(N)

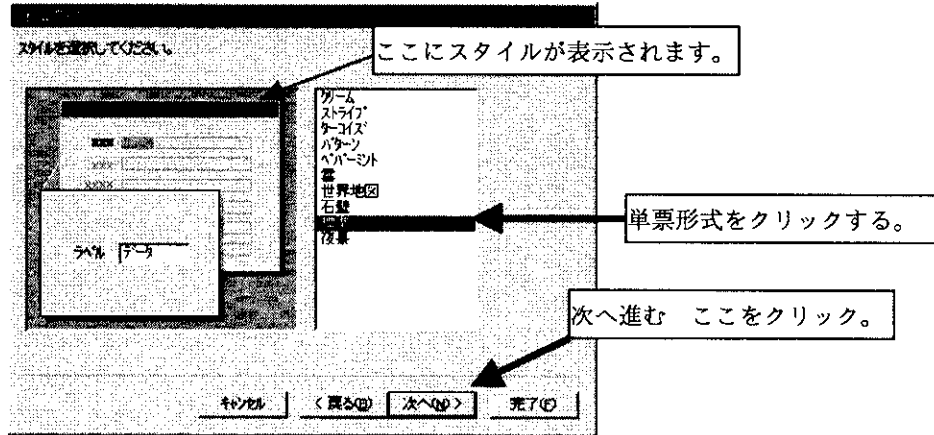
アンケート(N)

複票形式(N)

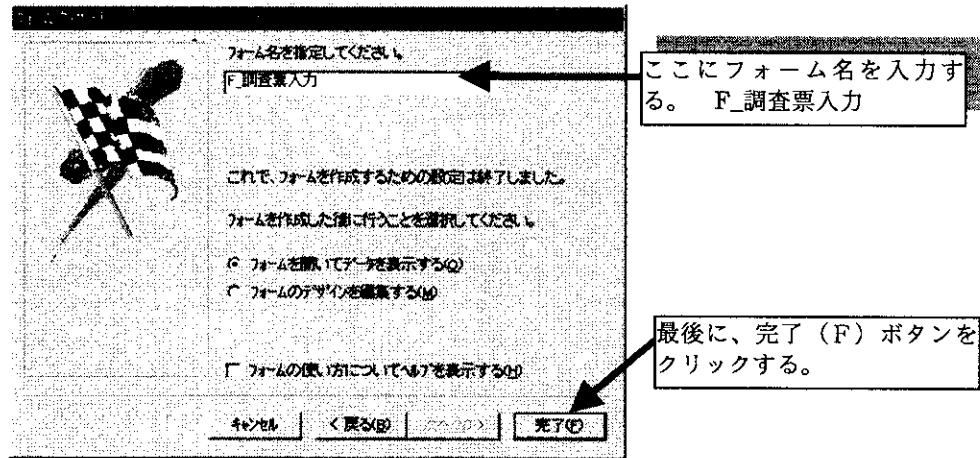
次へ進む ここをクリック。

キャンセル <戻る(N) 次へ(N) 完了(N)

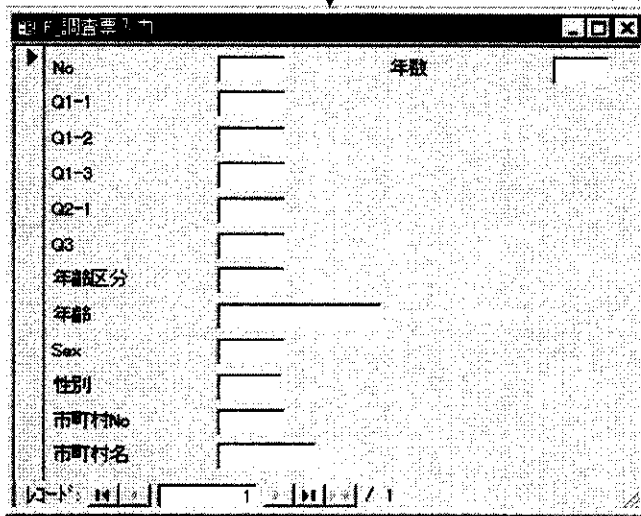
⑥ フォームのスタイルを選択する。



⑦ フォーム名を決定する。フォーム名を「F_調査票入力」とします。



フォームが完成しました! (^o^)/



フォームウィザードを使ってフォームを作成すると、基本的にテキストボックスが使用されます。

次は、このフォームのレイアウトを変更していきます。

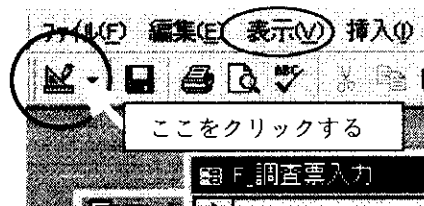
(4) フォームのレイアウトを変更する。


文字サイズ、コントロール（ラベルやテキストボックス等）の配置変更、背景色などフォームのデザインビューで変更をできます。

また、デザインビューでは新たにラベルやテキストボックスなどを作成することもできます。

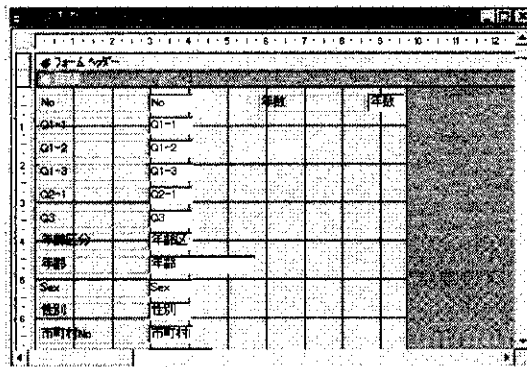
1) フォーム編集ができるように設定する。

フォームのレイアウトを変更するには、フォームのデザインビューにする必要があります。（データを入力する画面をフォームビューと呼びます）



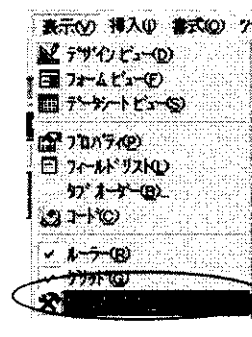
ツールバーの  をクリックするか、表示(V)のデザインビューを選択します。

デザインビューが表示されます。

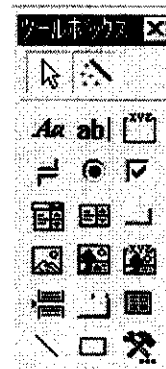


2) ツールボックスを表示させる。

テキストボックスやリストボックスなどを作成するには、ツールボックスを利用します。自動的にツールボックスが表示されないときは、次の手順で表示させて下さい。



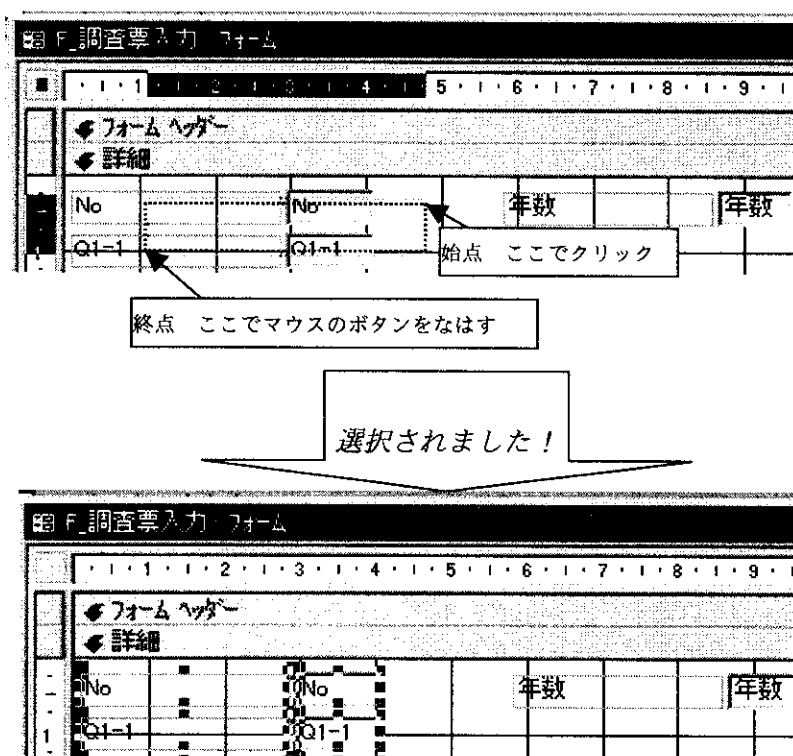
表示 (V) - ツールボックスを選択すると、ツールボックスが表示されます。(右)



3) 特定のテキストボックスやラベルを選択する。

選択を行うには、マウスで選択するテキストボックス及びラベルを含む四角形をマウスで描くようにします。

マウスの基本操作は、始点で、マウスの左ボタンを押し、ボタンを押したままで終点まで引っ張ります（ドラッグ操作）、終点でボタンから指を離すと四角形の範囲にあるものが全て選択されます。



選択中のテキストボックス・ラベルや図形などは上の図のように黒い四角が表示されます。

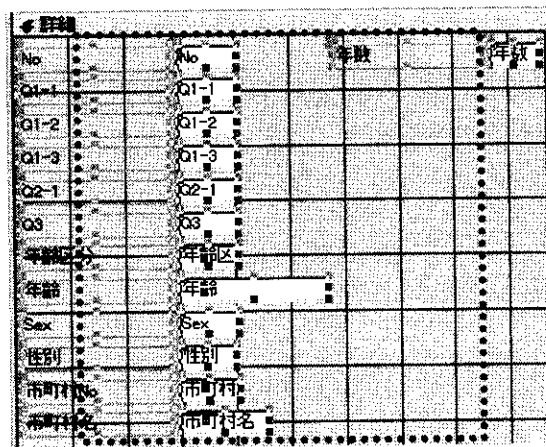
選択を解除するときは、テキストボックスなどがないフォームの場所でマウスをクリックして下さい。

4) 文字の大きさを変更する。

テキストボックスやラベルの文字の大きさ・色などを自由に設定することができます。

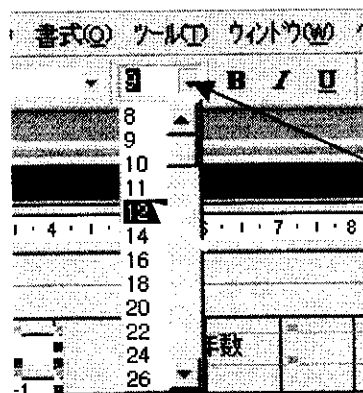
①変更するテキストボックスとラベルを選択します。

ここでは、以下の点線のように四角をマウスで書くようにして全てを選択して下さい。



②文字の大きさを変更する。12に設定します。

ツールバーの書式設定のフォント（文字）の数字を12にします。



このコンボボックスをクリックすると数字が表示されるので変更したい大きさの数字を再度クリックします。

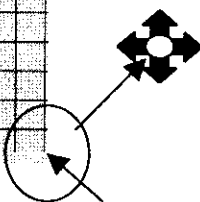
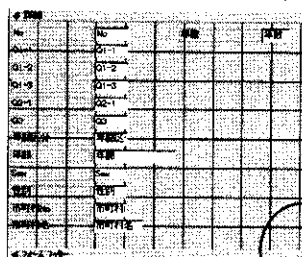
数字の右横にある「B」をクリックすると、文字が強調されます。

一口メモ ツールバー MSPゴシック 9 B I U

アクセス・エクセル・ワードといったマイクロソフト社からでているアプリケーションソフトの書式設定などのツールバーは共通しています。文字の設定やファイルの保存など同じ図柄で示されますので、1つのソフトの使用方法を覚えたら他のソフトにも応用してみましょう。

5) テキストボックスとラベルの位置を変更する。

①フォームの詳細を拡大する。



フォームの右下に矢印を合わせると、上の十字のマークが表示されます。



表示後、マウスの左ボタンを押したまま右下へマウスを下げ、ボタンをはなします。(ドラッグ操作をする)

フォーム詳細の大きさが拡大されます。

②年数のラベルとテキストボックスの位置を下にする。



年数を選択します。(操作方法 P 25)

矢印を年数のラベル上に移動させると、形が手のひらに変わります。

手のひらに変わったところで、マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かすと年数のラベルとテキストボックスが移動します。

No.	No.	年数	年数
Q1-1	Q1-1		
Q1-2	Q1-2		
Q1-3	Q1-3		
Q2-1	Q2-1		
Q3	Q3		
年齢区分	年齢区分		
年齢	年齢		
Sex	Sex		
性別	性別		
市町村No	市町村		
市町村名	市町村名		
年数	年数		

ここでは、市町村の下に移動をしました。

練習4 年齢区分から年数までのテキストボックスとラベルを移動する。
下の図のように移動をしてみてください。

No	No	年齢区分	年齢区
Q1-1	Q1-1	年齢	年齢
Q1-2	Q1-2	Sex	Sex
Q1-3	Q1-3	性別	性別
Q2-1	Q2-1	市町村No	市町村
Q3	Q3	市町村名	市町村名
		年数	年数

6) ラベルの文字を変更する。

No や年齢区分などのラベルの文字を変更するには、変更するラベルを選択した後、直接キーボードから文字を入力します。

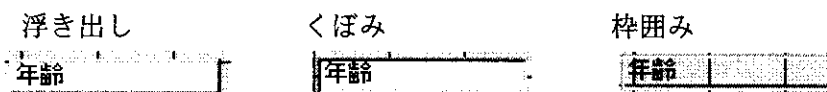


練習5 ラベルにある文字を以下のように置き換えて下さい

変更前の文字	変更後の文字
Q	問
年齢区分	問4 (1)
Sex	問4 (2)
市町村 No	問4 (3)
年数	問4 (4)

7) テキストボックスの立体表示を変更する。

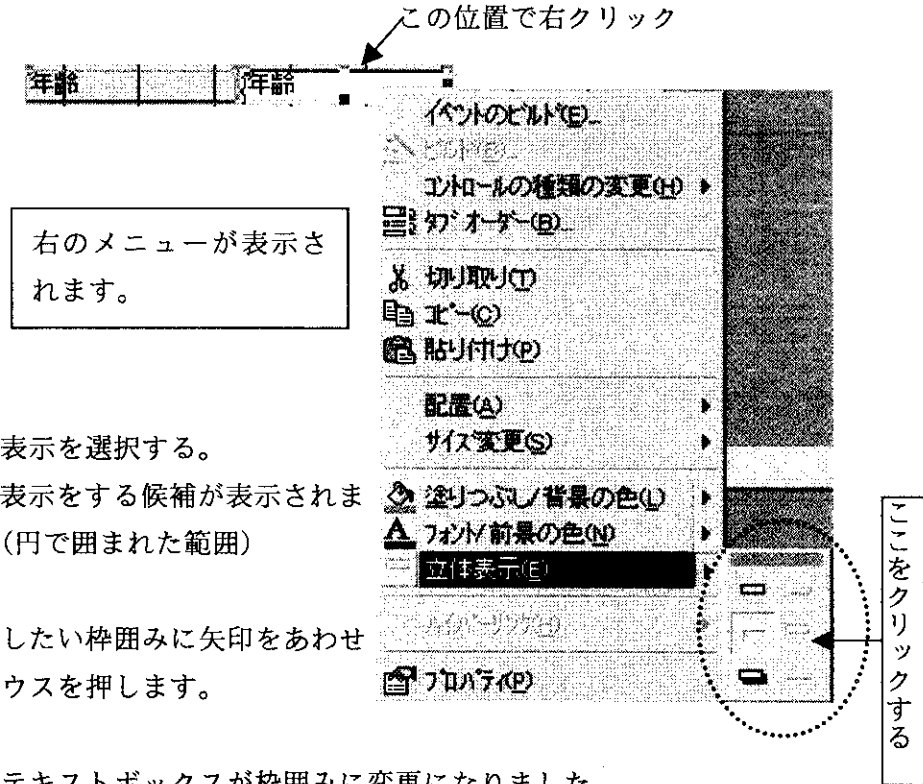
テキストボックスやラベルなどを浮き出したりくぼませるなどの立体表示の設定が可能です。



年齢・性別・市町村名のテキストボックスを枠囲みへ変更します。
ここでは、年齢のテキストボックスを例にとって説明します。

①年齢のテキストボックスを選択する。(操作方法はP25参照)

②マウスポインタ(矢印)を年齢テキストボックス上に合わせてマウスの右ボタンを押す。



③立体表示を選択する。
立体表示をする候補が表示されます。(円で囲まれた範囲)

④変更したい枠囲みに矢印をあわせてマウスを押します。

年齢のテキストボックスが枠囲みに変更になりました。



練習6 性別及び市町村名のテキストボックスの立体表示を枠囲みに変更して下さい。

8) 不要なラベルを削除する。

年齢・性別・市町村名のラベルを削除します。

問4(1)		年齢区	
年齢		年齢	
問4(2)		Sex	
性別		性別	
問4(3)		市町村	
市町村名		市町村名	
問4(4)		年数	

年齢ラベルを削除します。

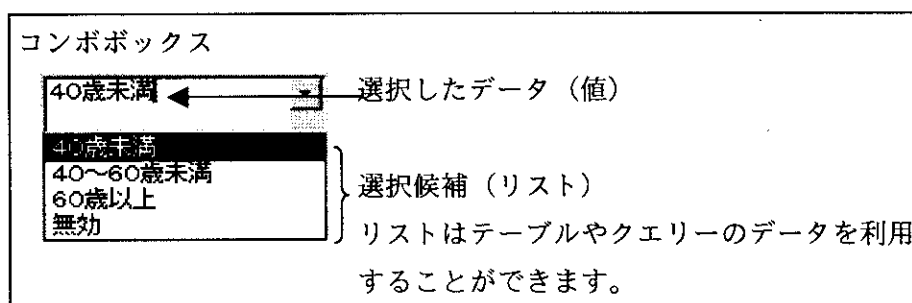
- ①年齢ラベルを選択する。
- ②キーボードの Delete キーを押すか、メニューの編集 (E) - 削除(Del)を選択する。
- ③年齢ラベルが削除されます。

同様の手順で性別と市町村名のラベルを削除

9) コントロールの種類を変更する (コンボボックスへ変更する)

市町村コードや性別コードなど入力の種類に限られたものは、コンボボックスやリストボックスを利用すると入力が簡単になります。

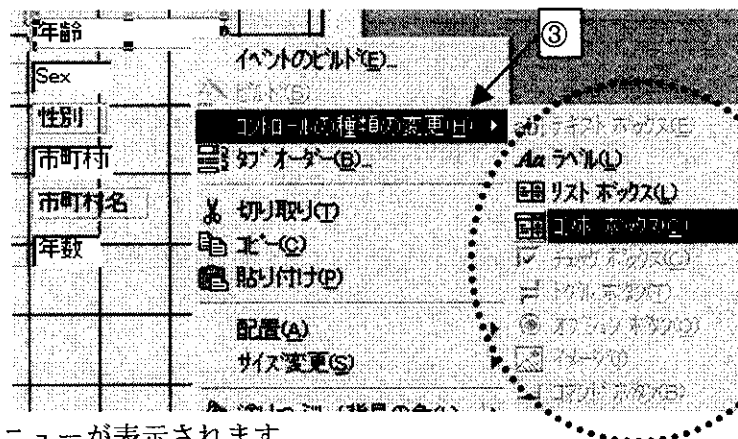
このアンケートの場合では、年齢区分、性別コード (Sex)、市町村 No をコンボボックスに利用します。



年齢をテキストボックスからコンボボックスへ変更します。

①年齢のテキストボックスを選択する。

②マウスポインタ (矢印) を年齢にあわせて、マウスの右ボタンを押す (右クリック)



メニューが表示されます。

③コントロールの種類変更 (H) を選択する。

コントロールの種類変更 (H) にマウスポインタ (矢印) を合わせてマウスボタンを押す。

コントロール種類が表示されます。(円の範囲)

④コンボボックス (C) を選択する。

コンボボックス (C) にマウスポインタ (矢印) を合わせてマウスボタン

を押す。

コントロールの種類が、テキストボックスからコンボボックスへ変更されます。

しかし、これでは、コンボボックスとして利用できません！！

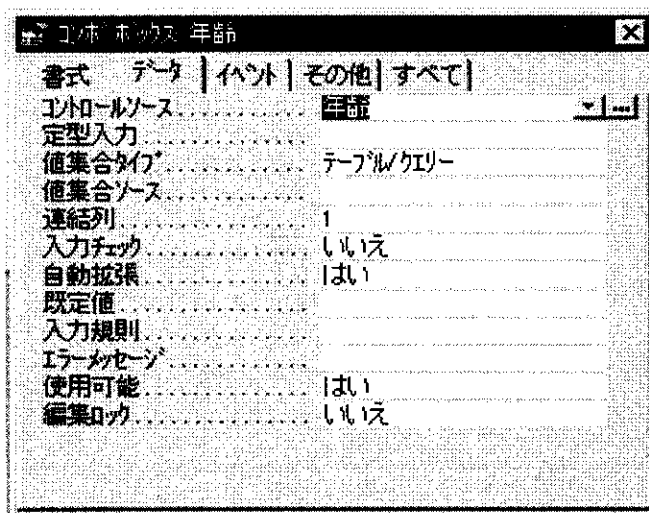
コンボボックスのリストが何を参照しているかなどを定義する必要があります。

これは、「プロパティ」（属性）の設定で定義できます。（P 17に説明）

以下、コンボボックスのプロパティを設定します。

⑤プロパティシートを開きます。

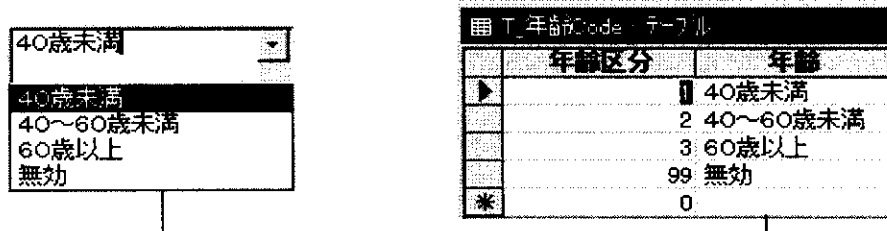
ツールバーのを  クリックして下さい。



コンボボックスのいろいろな属性をここで設定します。

⑥値集合ソースに「T_年齢 Code」を選択します。

値集合ソースとは、コンボボックスでリスト表示するためのデータ元です。値集合タイプに「テーブル/クエリー」を指定すると、既存のテーブルやクエリーのデータを参照できます。



T_年齢 Code テーブルをコンボボックスで参照しています。

⑦連結列を「1」に設定する。

テーブルの何列目のフィールドのデータを格納するかを決定します。
年齢区分のコンボボックスは、テーブルの年齢区分を参照しているため、
1列目を指定します。

⑧コンボボックスの書式を設定する。

コンボボックスに表示する列数や大きさを設定します。



列数 2を指定する

列幅 0.5;2を指定する

複数の列を表示する場合は、数字と数字の間はセミコロン「;」を半角で入力して下さい。

リストボックスが完成しました！！

練習7 性別コードおよび市町村コードのテキストボックスをコンボボックスに変更してください。

プロパティで設定を行うのを忘れないで下さい。

ここで、いったんフォームを閉じます。

一口メモ ヘルプの活用

たいていのアプリケーションソフトにはヘルプ機能が付いています。このヘルプ機能には、専門用語の説明から使用方法まであり大変便利です。

また、ヘルプには検索機能もついています。例えば差込印刷方法が分からないときは「差込印刷」とヘルプで検索してみてください。使用するコマンドや使用例まで説明がされます。

ぜひ、一度パソコンを使用していて行き詰まったらヘルプ機能を利用して下さい！！

(5) サブフォームを作成する。

これまでのフォームは、単数回答のみを対象として作成しました。

では、複数回答は、どのように作成すればよいのでしょうか？

別にまた、複数回答用にフォームを作り、別々に入力を行うしか手段がないのでしょうか？？

アクセス97では、フォームの中に他のフォームを組み込むための機能、サブフォーム機能が用意されています。

1) サブフォームとは

サブフォームとは、他のフォームの中に表示されるフォームです。基になるフォームをメインフォームと呼び、そのフォームの中に表示されるフォームをサブフォームと呼びます。フォーム/サブフォームの構成は "階層フォーム"、"マスター/詳細フォーム"、または"親/子フォーム"とも呼ばれます。

サブフォームは、一対多リレーションシップが設定されているテーブルまたはクエリーからデータを表示する場合に特に便利です。

T_単数回答と T_複数回答の一対多のリレーションシップを思い出して下さい。

今現在作成中の F_調査票入力フォームは、“一”側の T_単数回答テーブルをベースにしています。これに、“多”側のテーブル T_複数回答テーブルを基にしてこれから作るフォームをサブフォームとして F_調査票入力フォームに埋め込みます。

メインフォームの No を指定すると、サブフォーム側はメインフォームの NO に対応するデータを表示します。

左図は、メインで調査票 No「1」に対し（一側）、サブで No「1」に該当するデータが、2件表示されています。（多側）

入力したデータはそれぞれのテーブルに格納されます。

No	問2-2	その他該当者
1	1	
1	5	宗教関係
3	1	
3	2	

No	年齢区分	Sex	市町村No
1	1	2	2
2	1	1	1
3	1	1	2

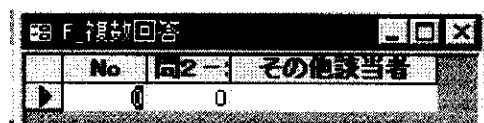
2) サブフォーム用のフォームを作成する。

作成する手順は、通常のフォームと同じです。

ただし、フォームの形式をデータシート形式（テーブルやクエリーの様な表示）を選択します。

詳しい操作方法は3-(3) フォームウィザードでフォームを作成する（P21）を参考にして下さい。

- ①データベースウィンドウのフォームタブで、新規作成を選択する。
- ②フォームの新規作成で、フォームウィザードを選択し、基になるテーブル・クエリーに「T_複数回答」を指定する。
- ③OK ボタンをクリックする。
- ④選択可能なフィールドからすべてのフィールドを選択し、次へ進む。
- ⑤フォームの表示形式に「データシート」を選択し、次へ進む。
- ⑥スタイルを選択する。
- ⑦フォーム名に「F_複数回答」を入力し完了ボタンをクリックする。
- ⑧フォームが完成しました。



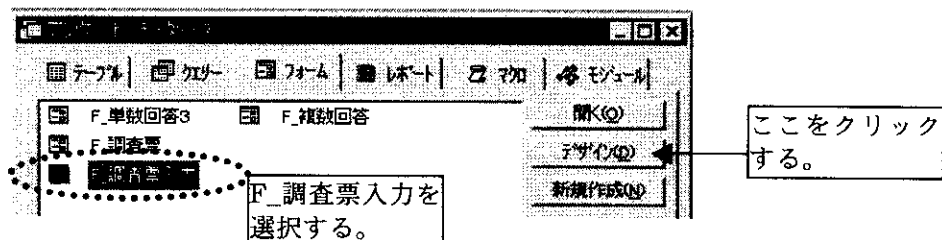
見た目は、テーブルのようですがこれはフォームです。

このフォームをメインフォームになる「F_調査票入力」にこれから埋め込みます。

フォームの新規作成で、オートフォーム：データシートを選択してもデータシート形式のフォームが自動作成されます。

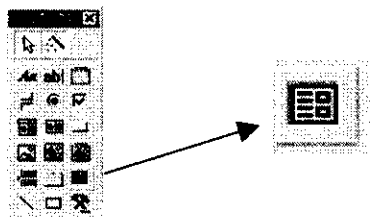
3) メインフォームにサブフォームを埋め込む。

- ①メインフォームとなる F_調査票入力をデザインビューで開きます。

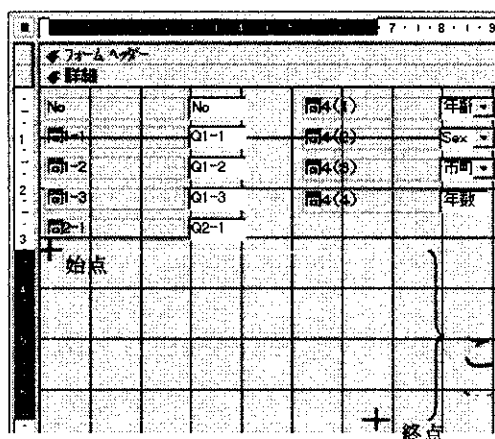


デザインビューで F_調査票入力が開きます。

② ツールボックスのサブフォームをクリックします。

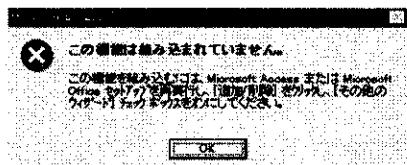


③ サブフォームを表示する範囲を指定します。



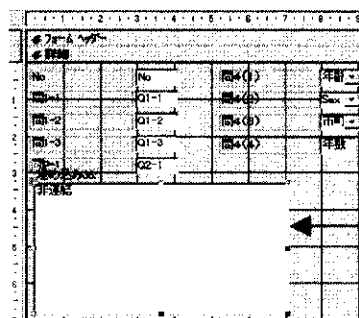
始点の位置にマウスポインタをあわせ、マウスの左ボタンを押し、そのまま終点位置までマウスを移動します。終点位置でマウスの左ボタンをはなします。

この時、以下のメッセージがでることがあります。



これは、アクセス97のインストール時の設定によります。サブフォームの設定ウィザードの機能が組み込まれていないだけで、エラーではありません。OK ボタンを押して下さい。

下の画面のようになっていれば大丈夫です。



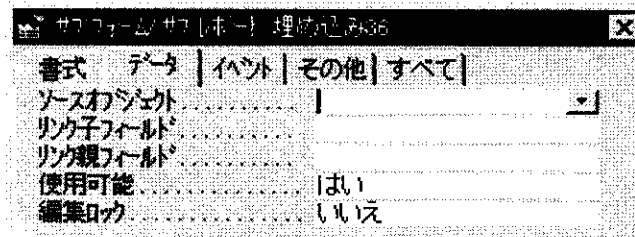
指定した部分が白に変わります。

④サブフォームとして利用するフォームを指定する。



サブフォーム上にマウスポインタを合わせて、右クリックします。左図のようにメニューが開くので、プロパティ (P) を選択します。

プロパティシートが開きます。



☆ソースオブジェクト：表示するサブフォームの基となるフォームです。

☆リンク子フィールド：サブフォーム側のリレーションシップの対象になるフィールド名です。

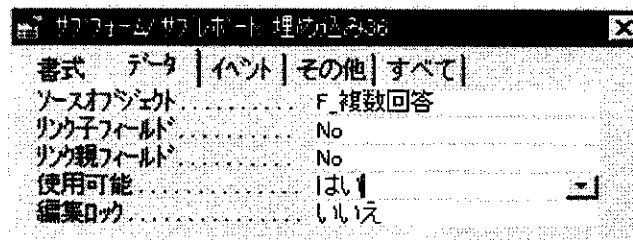
☆リンク親フィールド：メインフォーム側のリレーションシップの対象になるフィールド名です。

以下のように設定して下さい。

ソースオブジェクト：F_複数回答

リンク子フィールド：No

リンク親フィールド：No



サブフォームが組み込まれました。

